



昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171～5

http://www.showa-gkn.ed.jp/js/ FAX 047-326-5310

桜和祭 「雲外蒼天～取り戻せ、私たちの青春～」

バトン部の発表（メインアリーナ）



今年の桜和祭のテーマは、「雲外蒼天～取り戻せ、私たちの青春～」である。これまで新型コロナウイルスの感染防止の措置によって、生徒たちは我慢と不安の生活を送っていた。そのため、全校生徒の思い出に残るような桜和祭となるようにと、生徒会が中心となってクラス、部活動ごとに計画・準備を進めてきた。しかし、8月に千葉県で緊急事態宣言が発令され、桜和祭は各クラスの活動が中止となり、文化部の発表のみと決定した。

桜和祭まで1ヶ月を切っていたが、文化部の発表を中心にしながらも全校生徒が関わられるような企画にしたいと、2部門を別日程で実施することにした。9月18日は「パフォーマンスの部」とし、観客を必要とする文化部の企画を行う。また、10月4日から1週間を「展示の部」とし、学校の空きスペースで活動成果の発表を行う。

「パフォーマンスの部」では、各部の発表を直接鑑賞できる機会を作りつつ、分散を心がけて計画を練った。午前・午後と学年別に分散させ、メインアリーナ・伊藤記念ホール・教室の3会場で同時進行することで、密を避けながら、多くの生徒が会場で鑑賞できるようにした。各部ごとに、観客生徒の入れ替えも行うため、Teams



▲ 弦楽部の発表(伊藤記念ホール)

を使って常に各会場の状況を共有して連絡を取り合い進行を合わせた。教室では、プロジェクターに同時に他の会場で発表している2部活の動画を流した。会場では桜和祭を盛り



▲ 教室で鑑賞する生徒たち

上げようと、ケミカルライトなどを用いている生徒の姿も見られ、発表後には観覧した生徒はもちろんのこと、発表者からもとても楽しめたという感想が目立った。「生で発表を見てもらいたい」という生徒会の思いが込められた発表会となった。

「展示の部」では、学校の様々な場所に、文化部の普段の活動成果や作品の展示を行った。普段何も置かれていないスペースに様々な作品があることで博物館のような雰囲気にもなった。登校するとエントランスホールで華道部の作品に迎えられ、図書館や生徒ギャラリーを通ると色彩豊かな作品が目にと留まる校内の様子に良さを感じる生徒や教員も多く、展示期間が1週間であることを惜しむ声が聞かれた。

生徒会長は、「コロナウイルスの影響で、企画の再考をしなければならなかったのは悔しく、そして大変でした。しかし、一人ひとりの生徒が楽しめるものを目標とし、実際生徒のみなさんの楽しそうな顔を見ることができたので私もうれしかったです。」と話した。来年もどうなるか予測の立たない状況ではあるが、生徒が楽しむことができ、生徒主体の桜和祭を目指したい。



▲ 展示の部

SHOWA GAKUIN



芸術鑑賞会



本年度は昭和学院として初めて、中高共に劇団四季の劇場に足を運んでの芸術鑑賞会を実施した。中学校は「アラジン」、高等学校は「オペラ座の怪人」を鑑賞した。当日は現地集合現地解散ということ

▲ 中学校鑑賞(左)、高校鑑賞(右)チラシ
 ことで、生徒が集合時間に間に合うか、チケットを忘れないかなど心配することが多くあった。しかし、中学生も高校生も、集合時間に間に合わない生徒やチケットを忘れてしまう生徒は少なかった。



鑑賞中の中学生の様子は、様々な演出に拍手や歓声が自然と興り、約2時間30分の公演を集中力が切れることなく楽しみながら鑑賞していた。

▲ 劇場内展示のランプ(左)、劇場入り口(右)



カーテンコールの際には自然とスタンディングオベーションが起こった。終演後、興奮しながら劇について話す生徒たちの感激した表情を見ることができた。また、「楽しかった!」「面白かった」などの感想を多く耳にした。

高校生は「オペラ座の怪人」を知らない生徒が多く、鑑賞後どのような反応がある

▲ 入場する生徒たち(高校) か楽しみであった。休憩の時点で「面白い!」「演出が凄い。歌も上手すぎる!」などの声が聞かれた。終演後は、「生演奏が良かった!」「最後が切なかった…」などの感想が聞け、ストーリーも理解して楽しむことができていたのだと思った。

中高共に、生徒や教職員の反応から本年度はこれまでで最も心に残るものになったようだ。現段階では、来年度の芸術鑑賞会は中高共に劇団四季での新たな演目を予定している。1人でも多くの生徒に芸術文化に興味を持ってもらえるように、これからもより良い計画を行っていきたい。



▲ 四季劇場 秋 入口前にて

スピーチコンテスト



高等学校市川市内大会出場者

〈高等学校 市川市内大会〉 感染予防のため動画を主催校に送るといふ異例の形で行われた。結果は次の通りであった。

高1 朗読部門：3位 周藤彩乃(1D) 暗唱部門：優勝 荒瀬史歩(2D)
 高2、高3 暗唱部門：優勝 山縣 杏(1C)

全学年スピーチ部門：2位 竹村 季(2D)

この中で、部門優勝の山縣さん、荒瀬さんと、スピーチ部門2位の竹村さんが市川、浦安地区の代表として千葉県大会に駒を進めた。

〈高等学校 千葉県大会〉 令和3年11月12日(金)に成田国際高等学校において、第72回 千葉県高等学校生徒英語研究発表会が行われ、本校生徒3名を含む、地区予選を勝ち抜いた総勢約40名が参加した。結果は次の通りであった。

高1 朗読部門：5位 山縣 杏(1C) 高2、3 暗唱部門：優勝 荒瀬史歩(2D)

開催されなかった昨年を挟み、一昨年の高1朗読部門に続いて2年連続で県大会での優勝を果たした。なお、高2、3暗唱部門での優勝は本校初の快挙である。

〈中学校 市川市内大会〉 令和3年9月15日(水)に全日警ホールにおいて、市川市中学校英語発表大会が行われ、中3暗唱部門で宮崎琴音さん(3の2)が3位入賞を果たした。

3大会とも、素晴らしい結果となったのは、夏休み、早朝、放課後と、Kevin先生、Chris先生の経験から打ち出された的確で熱心な指導と、生徒たちの努力のたまものである。



▲ 高校 荒瀬さん(左)と山縣さん(右)



▲ 中学 宮崎さん

全校一斉朝の読書

11月11日(木)から20日(土)まで「全校一斉朝の読書」が実施された。昨年度はコロナ禍により中止となったため、今回初めて経験する生徒が多かったのだが、開始前

前から静かに着席し、集中して読書する生徒の様子が各教室でみられた。この期間をきっかけに学級文庫を準備して取り組んだクラスもあり、有意義な読書の時間になった。



▲ 熱心に読書に励む生徒たち

高等学校 | Aコース

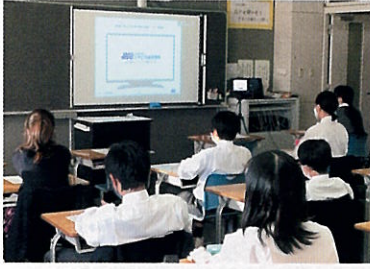
1年D組は、11月8日「国際理解プログラム」に参加した。このプログラムは、日本とモロッコ両国でSDGsの推進に取り組む五井平和財団が主催したもので、モロッコ大使館と東海大山形高校、名古屋国際高校と本校がオンラインで交流した。生徒たちは大使館職員の講演を通じ、日本とモロッコの共通点やモロッコの再生可能エネルギーなどについて学んだ。



▲ 国際理解プログラムの様子

また、2年D組から英検準1級に3名が合格した。昨年は高校全体で1名であったことを考えると1クラスから3名の合格者は快挙である。さらに多くの合格者が出ることを期待されている。

キャリアアップ講座



▲ 10月29日の様子 (JARO)

本校では今年度より、キャリア教育の一環として、現場で働く社会人の方を学校に招いて、仕事の内容や仕事と社会のつながりについての話を聴いたり、ワークショップを行ったりする《キャリアアップ講座》を実施している。中学の3年間は、社会を知り、社会と仕事のつながりなどに興味・関心を持って学び、自己理解を行う大切な時期である。

今年度はコロナ禍によりオンライン形式であったが、「みずほ銀行」「日立システムズ」「JARO」などに協力していただいた。放課後の実施にも関わらず多くの生徒が参加し、仕事の大変さややり

がい、社会との関わりについての話に耳を傾けていた。事後のアンケートでは、「何のために仕事をするのか」という問いに対して真剣に向き合い、「将来を豊かにするため」や「お金を稼ぐだけでなく他の人の役に立つこと」といった回答があり学びを深めていた。また、現場で働く社会人の話を直接聴いたことで、将来のことについて考えるきっかけになった生徒もいたようだ。

今後社会は変化し続け、それに伴い職業も大きく変わると言われている。だからこそ、広い視野で社会を捉え、自己理解を深めながらさまざまな可能性を見出してもらいたい。本講座がその一助となることを願っている。



▲ 5月12日の様子 (みずほ銀行)

令和3年度全国中学校体育大会 結果

新体操部

塩屋 恵美子先生

第52回 全国中学校新体操選手権大会



女子団体 第3位

東 愛梨 寺崎 天音
小西亜美花 杉井 千和
村山 梨花 田中 利冴
北川 花音 福田 杏南

◀ 全中体操選手権大会にて

新体操部は、第52回・全国中学校新体操選手権大会が、東京都エスフォルタアリーナ八王子(8月17~19日)で開催され、団体・第3位という成績を収めることができました。

昨年度はコロナ禍により全ての大会が中止となった為、皆の全国にかける気持ちは強かった。しかし全国への道は険しく、県総体ではミスが響き3位となる。関東大会で全国大会進出枠の4強に食い込むためには、本番でのノーミスの演技が最低条件であった。チームを修正し、関東準優勝で全国の切符を掴むことができた。全国大会では本番特有の緊張感漂う中、プレッシャーを力に変えて会心の演技で締めくくることができた。演技後の選手の笑顔とご父兄の涙に、感動と感謝の全中となった。

ハンドボール部女子

梅澤 和代先生 関 篤詞先生

第50回 全国中学校ハンドボール大会 第3位



今年度は昨年度に続きコロナ禍での活動となり、思うような練習ができない日々でした。その中で練習相手を引き受けてくれたのはOGの方々や、全国大会期間中にも関わらず協力をしてくれた高校女子ハンドボール部の先輩方でした。中学校の部員だけでなく、高校生やOGも含めた「チーム昭和」で大会に臨むことができ、全国大会では、第3位という結果を収めることができました。このような結果を残すことができたのは、理事長先生を始め、会場で応援をくださった校長先生や保護者の皆様、日頃より選手に温かい声援を送ってくださる先生方やチームを支えてくださっている皆様のお陰です。ご声援ありがとうございました。

ソフトテニス部

高原 良江先生

第52回 全国中学校ソフトテニス大会

男子個人 第3位 内田・井手ペア



男子団体 第5位
内田 陽斗 井手 凜太
藤木 晴叶 金澤 諒
田原 侑晟 大槻 哲平
市川 翔大 坂本 尚輝



女子個人 第5位 稲葉・服部ペア

バスケットボール部

一関 智子先生

第51回 全国中学校バスケットボール大会 ベスト8



空手同好会

飯野 誠也先生

第29回 全国中学生空手道選手権大会 女子個人形 根津 曆実 第9位



SHOWA GAKUIN

令和3年度全国高等学校総合体育大会 結果

新体操部

新体操選手権大会 団体 **第7位**



加藤 羽乃 大内 日愛
二木 乃愛 横山 結那
中川結己奈 太田 詩月
伊坪 詩 林 麻愛

塩屋 恵美子先生

水泳部

第89回 日本高等学校選手権大会 水泳競技大会



個人女子 100m背泳ぎ
第8位 笹生 舞琳

大会出場者

笹生 舞琳 星 隆希
鵜田 未来 高梨 愛花

関谷 直樹先生

女子ソフトテニス部 ソフトテニス競技大会

高橋 章典先生
団体 **ベスト16**

渡邊 瑞姫 小柴 由貴
町田 寧音 西山なつみ
大野 栞 小川ことみ
鈴木 叶 藤本 朱里



女子バスケットボール部 バスケットボール競技大会

鈴木 親光先生
ベスト16



活躍する卒業生「2020TOKYO オリンピック・パラリンピック」



バスケットボール部女子

赤穂 ひまわり (2016年度卒業)



▲ 山本理事長と赤穂さん
赤穂ひまわりは2学年上の姉さくらの影響を受けて、中学校高等学校の6年間を本校で過ごした。バスケットボール選手としては、中学校時代からJOCの全国大会で最優秀選手賞(MVP)を受賞するなど輝かしい成績を残していた。高校生になってからも、1年次には姉のさくらと共に全国大会において本校を準優勝に導く原動力として活躍した。また、U16・U17・U18と世代別の日本代表に選出され、アジア大会をはじめ世界大会にも出場する選手であった。このころから東京オリンピックを目標に大学進学をせず、自分のバスケットボールの技術を磨くために実業団のチームに入団した。企業チームでも入団1年目から頭角を現し、日本代表選手に選ばれていた。そして、目標であった東京オリンピックに出場し、メダリストとなった。
文：高校女子バスケットボール部顧問 鈴木親光教諭



アーティスティクスイミング

塚本 真由 (2015年度卒業)



▲ 大井校長と塚本さん
2013年昭和学院高等学校に入学。中学・高校を通じて、ジュニアの国際大会に出場して入賞している。高校卒業後は日本大学スポーツ科学部に入学。アスリートとしての経験を活かし、専門的な学びを深めた。大学在学中に日本ナショナルチームに抜擢され、いくつかの国際大会を経て2020年オリンピック・パラリンピック出場を決めた。明るく前向きな性格で、誰とでも分け隔てなく接することができ、高校在学中はクラスのムードメーカーになる時もあった。持ち前の明るさとコミュニケーション能力を生かし、今後はエンターテインメントの世界に足を踏み入れることになりそうだ。
文：高校3年間学級担任 渡辺基子教諭



新体操

横田 葵子 (2015年度卒業)

新体操日本代表で8年間活動をしていました、横田葵子です。リオオリンピックに続き、2大会連続出場となる東京オリンピックでは、大会直前で怪我をしてしまい、メンバーとして踊ることはできませんでした。悔しい思いはありますが、オリンピックまでの期間を全力でやりきったので、後悔は一切ありません。

どんな時でも、昭和学院の先生方、昭和学院での仲間がずっと味方でいてくれたお陰でここまで頑張ることができました。今後は、新たなステージで自分らしく明るく頑張ります。今まで沢山の応援ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



文：横田葵子さん ▲ 恩師と横田葵子さん(右から2人目)



競泳(視覚障害S13)

辻内 彩野 (2014年度卒業)

パラリンピック水泳選手の辻内彩野です。東京パラではたくさんの応援をありがとうございました。2017年にパラの世界へと転向し、東京大会が私にとって初めてのパラリンピックとなりました。昭和学院を卒業する時に思い描いていた未来とは全く違う未来となっています。しかし、この未来は私にとってはとてもいい結果となっています。パリ大会までは頑張りたいと思いますので引き続き応援して頂けると嬉しいです。

文：辻内彩野さん
高校時代から文武両道に励み、日頃からとても明るく笑顔溢れる選手であり、誰からも応援される選手だった。パリ大会ではメダルを取ってきてくれることを期待している。



文：高校水泳部顧問 関谷直樹教諭 ▲ 関谷教諭と辻内さん

SHOWA GAKUIN

オープンスクール・学校説明会



▲ 探究の体験授業 (中学)

今年度のオープンスクールと学校説明会も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から人数と時間の制限を設けながらの実施となった。「3密」を回避するため全体会を行わず動画での配信を中心とし、短い滞在時間の中でも来校された方が昭和学院での学校生活をイメージしやすいような施設見学を心掛けた。オープンスクールでは、昭和学院で実施している授業を取り入れている。中学校では初めて「探究」の授業を試みた。「探究」は答えのない間に対して協働する学習活動であるため、参加して下さった方3、4名でグループを作り、用紙のみを使ってできるだけ



▲ 英語の体験授業 (高校)

高いタワーを作ることに挑戦した。始めは話し合いが進まない班もあったが、徐々に慣れ、何度も試行錯誤をする様子が見られた。中には、保護者の班よりも高く積み上げている班もあった。

中学校の入試説明会では、算数1科オンライン模擬入試体験を行った。参加者とzoomをつなぎ、本番さながらの演習問題に挑戦してもらった。教員による説明が行われているときは緊張した様子であったが、徐々に慣れていくと問題に集中する様子が見受けられるようになった。小問ごとに制限時間が設けられているため、時間配分を体験でき、試験当日の流れをつかむことで、受験生がリラックスして実力を出し切るための良い機会となった。

来年度も、オンラインの良い部分を残しながら、昭和学院の魅力や学校の様子が伝わるよう、より一層工夫を凝らして実施していきたい。



▲ 算数1科オンライン模擬入試体験

情報経営イノベーション専門職大学における高大連携



▲ 協定書調印式

10月5日、iU 情報経営イノベーション専門職大学(以下 iU)とオフィシャルパートナーシップを提携し、より一層高大連携を推進することとなった。iUは「全員起業」を掲げ、在学中から長期のインターンシップや起業を経験するなど、これまでにない取り組みで日本のアントレプレナーシップ(起業家)教育を推進している先進的な大学である。iUと正式に提携することで、①iUの教員による高校での授業実施、②iUの学生による高校生へのフィードバックやサポー

ト、③希望する高校生による iU訪問(授業見学)、④ビジネスピッチに参加する高校生などが iU を訪問し、教員及び学生からサポートなどを実施している。11月11日には、希望する生徒によって都内のインキュベーションセンター訪問やビジネスピッチイベントの見学も行い、本校の高校生1名が大人たちに混じって堂々とピッチを行った。また、現在別のビジネスコンテストに参加している生徒もおり、これらの生徒たちもiUの先生方から頻りに指導やサポートを受けて、ホンモノのビジネスに挑戦している。



▲ ビジネスピッチ参加者

奨学会だより

一千葉県私学振興大会一

10月9日(土)午後2時から千葉県私学振興大会が幕張メッセで開催され、本校奨学会から5名の理事が出席しました。情勢報告の中で、私学を取り巻く環境は一層厳しくなっているものの、千葉県の私学



▲ 私学振興大会全体風景



▲ 私学振興大会に出席された理事の皆さま

に対する補助金は軒並み上位にあること、公立学校に負けない施設で質の高い教育をしていることなどの説明がありました。また就学支援金や授業料減免の制度も拡充しているにも関わらず、公私間の格差が一層広がっているという実態も明らかにされました。最後に大会決議を採択して無事終了しました。

一学校周辺の清掃活動一

11月20日(土)、27日(土)の両日、朝8時50分から134名もの奨学会理事の皆様にご協力いただき、学校周辺の美化作業を実施しました。当日は冷たい風が吹きすさぶ中での作業になりました。ご多忙の中ご協力いただいた理事の皆様におかれましては、厚く御礼申し上げます。



▲ 美化作業

一自習室を通じた学習支援活動一



▲ 自習室の学習風景

生徒が放課後に自主的に学習をする場として自習室が開放されており、連日多くの生徒が利用しています。自習室には卒業生を主体とする学生チューターがおり、個別の質問対応や講座の講師などで、在校生の学習指導にあっています。奨学会の皆様には、多くの生徒が希望進路実現を達成できるよう、自習室を通じた学習活動を後方から支援していただいています。

令和4年度 入試概要

中学校	一般入試(72名)					
	国語1科	マイプレゼンテーション②	算数1科	算数1科 オンライン入試	適性検査型 (特待生選考)	アドバンストチャレンジ (特待生選考)
出願コース	全コース可	GA	全コース可		IA・AA	IA・AA
志望	併願				併願	併願
試験日	令和4年1月20日(木)				令和4年1月22日(土)	令和4年1月25日(火)
	11:30~	10:50~	15:00~	16:00~	9:30~	9:30~
選考内容	国語	自己表現文 プレゼンテーション 及び質疑応答	算数	算数(オンライン)	①適性検査Ⅰ ②適性検査Ⅱ	2科(国・算・英から2科目選択) もしくは 4科(国・算・英から2科目選択+理・社)

中学校	帰国生入試(20名)	
	帰国生② (特待生選考)	帰国生③ (特待生選考)
出願コース	全コース可	
志望	併願	
試験日	令和4年1月20日(木)	令和4年1月25日(火)
	15:00~	9:30~
選考内容	プレゼンテーション 及び 質疑応答 *プレゼン及び質疑応答は日本語または英語の選択が可能	2科+面接(国・算・英から2科目選択) もしくは 4科+面接(国・算・英から2科目選択+理・社)

高等学校	前期選抜試験(176名)								
	A推薦	B推薦Ⅰ/ 併願優遇Ⅰ	一般Ⅰ	B推薦Ⅱ/ 併願優遇Ⅱ	一般Ⅱ	特色Ⅰ	帰国生	一般Ⅲ	特色Ⅱ
志望	第1志望	併願		併願				併願	
出願コース	全コース可				IA・GA	全コース可			IA・GA
試験日	令和4年1月17日(月) 9:00 会場:本校			令和4年1月18日(火) 9:00 会場:本校				令和4年1月26日(水) 9:00 会場:本校	
試験内容	「英語・数学・国語」各50分間(各100点) ・英語はリスニングテスト含む。 *次のコース志望の場合は上記3科目に以下の試験を追加実施する。 ・IAコース「英語面接」 ・TAコース「理科・社会」各50分間(各100点)を午後実施。 (昼食持参)				・プレゼンテーション ・質疑応答 ・IAコース「英語面接」追加	筆記試験:「英語・数学」「英語」「数学」から1つ選択する。 ・各50分間(100点) ・英語はリスニングを含む。 面接試験:「日本語面接」 *次のコース志望の場合は以下の試験を追加実施する。 ・IAコース「英語面接」 ・TAコース英数国理社の5科実施 *各50分(各100点)を午後まで実施	一般Ⅰに 同じ	特色Ⅰに 同じ	

※入試について詳しくは要項をご覧ください。